

がん検診の制度変更について

がん検診の制度変更について

① 国の指針の改正内容

平成28年2月に国の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」が以下のとおり改正された。

変更点

○対象者

胃がん検診については、当該市町村の区域内に居住地を有する50歳以上の者を対象とする。

○実施回数

胃がん検診については、原則として同一人について2年に1回行う。

○胃がん検診の検診項目

胃がん検診の検診項目は、問診に加え、胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査のいずれかとする。市町村は、胃部エックス線検査及び胃内視鏡検査を併せて提供しても差し支えないが、この場合、受診者は、胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査のいずれかを選択するものとする。

変更の背景

【対象年齢の引き上げ】

胃がんは、昭和58年当時と比較し、平成23年の統計では、罹患率が40～49歳で約1/2に減少し、死亡率は、平成25年の死亡率は昭和58年当時と比較し、40～49歳では約1/5に減少している。

【検診間隔について】

見直し前の胃エックス線検診は1年に1回の間隔で実施されているが、研究では1～3年以内の胃エックス線検診受診により、有意な死亡率減少効果を認めている。

内視鏡検査については、国内及び韓国の研究結果から検診間隔を2～3年に延長した場合でも死亡率減少効果が認められた。

堺市のがん検診の制度変更について

② 胃がん検診の見直し

国の「がん検診実施のための指針」の変更に伴い、以下のとおり検診内容を変更する。

平成27年度				平成28年度			
	検査方法	対象者	検診間隔		検査方法 選択制	対象者	検診間隔
胃	エックス線検査	40歳以上	年1回	➔	エックス線検査	50歳以上	2年に1回
	内視鏡検査						

変更点

- ① 内視鏡検査を新たに導入し、従来からのエックス線検査と選択制とする。
- ② いずれの検査も対象者を50歳以上とし、2年に1回(偶数年齢での受診)の検診間隔とする。

導入時期及び自己負担

平成28年10月から実施 自己負担1,000円(減免制度あり)

胃がん検診の見直しに伴い、以下のとおりその他の検診制度を新たに追加・変更する。

③ 胃がんリスク検査の導入

胃がん検診の見直しに伴い、対象から外れることとなった40歳代の市民に対して、胃がんリスク検査を平成28年10月から導入。(平成29年度以降は、40歳に到達した者及び49歳以下で検査を受診していない者のみ実施)

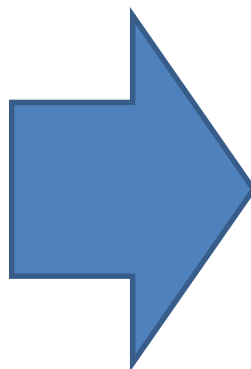
【検査は対象年齢時に1度 自己負担1,000円(減免制度あり)】

④ 総合がん検診の見直し

まとめて受診から個別検診に。

平成27年度

対象者	検査内容(まとめて受診)
40歳以上の男性及び奇数年齢の女性	胃、肺、大腸
40歳以上の偶数年齢の女性	胃、肺、大腸、子宮、乳



平成28年度

対象者	検査内容(個別検診)
40歳以上49歳以下男性、女性	肺、大腸 (偶数年齢の女性は子宮、乳)
50歳以上男性、女性	肺、大腸 (偶数年齢の男性は胃 女性は胃、子宮、乳)

がん検診制度(平成28年10月から実施)

検診名	対象者	実施場所	検査の内容	自己負担額
胃がん	50歳以上の偶数年齢の市民	市内協力 医療機関 ・保健セン ター、地域 会館等	医療機関: 胃部エックス線直接撮影または胃内視鏡検査 保健センター: 胃部エックス線間接撮影	医療機関: 1,000円 保健センター: 500円
肺がん	40歳以上の市民		胸部エックス線直接撮影 たんの検査	医療機関: 胸部エックス線 200円、 たんの検査 400円 保健センター: 胸部エックス線 無料 たんの検査 400円
大腸がん	40歳以上の市民		便潜血検査(2日法)	300円
子宮がん	20歳以上の偶数年齢の市民 (女性のみ)	市内協力 医療機関	子宮頸部の細胞診 医療機関では子宮体部も必要な方には 検査を実施	500円
乳がん	30歳以上40歳未満の市民(女 性のみ)		視診・触診	400円
	視触診受診時の年齢が40歳以 上の偶数年齢の市民(女性 のみ)		視診・触診・マンモグラフィ(乳房X線撮 影)	900円
胃がん リスク 検査	40歳以上49歳以下の市民(40 歳から49歳の間に1度)	市内協力 医療機関	血清検査(ペプシノゲン、ヘリコバクターピ ロリ)	1,000円

○肺・大腸・乳がん(30歳代)は、年度に1回。胃・子宮・乳がん(40歳以上)は、偶数年齢時に1回。

○次の方は、自己負担額が無料(1)満65歳以上(胃がん・乳がん・子宮がん検診は66歳以上)の市民(2)市民税非課税世帯、生活保護世帯等に属する方(事前に保健センター等へ申請が必要)

○胃がん検診の対象年齢の変更に伴う経過措置として、40歳から49歳の年齢の方及び50歳以上の奇数年齢の方は次の場合、それぞれの期間まで、胃がん検診(問診及び胃部エックス線検査)を受診可能。① 医療機関で実施する総合がん検診(平成28年12月31日まで)② 9月末までに総合がん検診の予約を行っていた方及び自己負担の免除申請を行った方(平成29年3月31日まで)③ 保健センターが実施する胃がん検診(平成29年3月31日まで)